

# 外国語活動・外国語科の研究

## 1 外国語活動・外国語科で目指す子ども

文化や言葉の違いに気付き、主体的にコミュニケーションを図ることができる子ども

小学校外国語教育の最終目標は、外国語を用いてコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することである。そのためには、様々な文化や言語を受け入れ、自ら理解しようとする姿勢が重要である。これを受けて当校では、次のような子どもの姿の具現を目指す。

異なる文化や言葉等を超えてコミュニケーションを図るには、固定観念から脱却する必要がある。そのためには、互いのことを理解しようと、知識・技能を發揮していくことが大切である。そのきっかけとなるのが、文化や言葉の違いに気付ける子どもの姿である。

文化や言葉の違いに気付いた子どもがより互いを深く理解したいと思ったとき、いくつかの壁がある。文化（考え方、習慣）や言葉等、自分とは異なる部分を受け入れ、自らもその世界に飛び込んでいかなければならない。そのためには、目的や場面、状況等に応じて、情報や言語を選択したり、判断したり、表現したりしながら、自らの価値観や概念を再構築していく思考力・判断力・表現力が必要である。この具体的な姿が、主体的にコミュニケーションを図ることができる子どもの姿である。

当校の外国語教育は、子どもが言語そのものを獲得するのみならず、その背景にある文化をも理解することを目指している。従って、目指す子どもの姿は、互いを理解するために、言語を駆使する姿である。そのためには、自他を尊重し、自らを理解しようとする学びに向かう力

・人間性（当校では「態度」）が学習過程全体を通じて、育まれる必要がある。

## 2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第3学年

言葉の要素（特徴等・働き・使い方）に気付き、英語でコミュニケーションを楽しむ子ども

茂木は、中学年外国語活動において、言葉の違いの楽しさに触れながら英語でコミュニケーションを楽しむ姿を目指す。

言葉の要素に気付くとは、普段子どもが使っている日本語との意味の違い、音の違い、表現方法等の違いに気付くことである。コミュニケーションを楽しむとは、気付いた違いを意識してやり取りすることで、互いを理解し合うと同時に、英語が使えた喜びを体験した姿である。

そのために、子どもにとって身近な話題で言葉に興味や違和感をもつかかわりを仕組む。すると子どもは、普段使っている日本語との違いに気付くようになる。

違いに気付いた子どもにそれが意識できるゲームやチャンツ、音楽等を用いて、単元で学ぶ英語表現や語彙に繰り返し慣れ親しませる。子どもは、気付いた違いを意識して聞いたり、話したりすることで、体験的に理解していく。

違いを意識して使った体験をもつ子どもに、目的が明確なコミュニケーション活動を仕組む。子どもは、気付いた違いを意識しながら目的や場面、状況等に応じて、英語でコミュニケーションを図るようになる。そして、英語が伝わった、目的が達成した喜びを感じるようになる。

このように、子どもが違いに気付き、その違いを意識してコミュニケーションを図れた楽しさを感じることで、目指す子どもの姿を具現する。

### 3 外国語活動・外国語科の学習で働かせる「見方・考え方」

	中学年（外国語活動）	高学年（外国語科）
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手等とのかかわりから文化や言葉に着目すること</li> <li>○目的や場面、状況に応じて、情報や自分の考えなどを関係付けて考えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者等とのかかわりから文化や言葉に着目すること</li> <li>○目的や場面、状況に応じて、英語と情報や自分の考えとを関係付けて考えること</li> </ul>

### 4 外国語活動・外国語科で育成する資質・能力

	中学年（外国語活動）	高学年（外国語科）
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語の特徴等に関する理解               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声</li> <li>・語彙</li> <li>・表現</li> </ul> </li> <li>・英語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさや大切さ</li> <li>・異言語、異文化</li> <li>○英語の働きに関する理解               <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し、言い換え等</li> <li>・感謝する、謝る等</li> <li>・賛成する、反対する等</li> <li>・依頼する、許可する等</li> </ul> </li> <li>○英語を運用する（使い方）技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語の特徴やきまりに関する理解               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声</li> <li>・語彙</li> <li>・表現</li> <li>・文字及び符号</li> <li>・語、連語及び慣用表現</li> <li>・文及び文構造</li> <li>・異言語、異文化</li> </ul> </li> <li>○英語の働きに関する理解               <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し、言い換え等</li> <li>・感謝する、謝る等</li> <li>・情報を伝える（説明、理由等）</li> <li>・賛成する、反対する等</li> <li>・依頼する、許可する等</li> </ul> </li> <li>○英語を運用する（使い方）技能</li> </ul>
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な語句や表現で伝え合う力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像しながら聞くこと</li> <li>・絵やジェスチャー等を交えて話すこと</li> <li>・聞いたことを活用して話すこと</li> </ul> </li> <li>○考えを形成、整理する力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、外国語の情報を選択すること</li> <li>・外国語の情報を活用して自分の意見や考えをまとめること</li> <li>・自分の意見や考えを外国語で表現すること</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な語句や表現で伝え合う力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・推測しながら聞くこと</li> <li>・効果を考えて話すこと</li> <li>・想像しながら読むこと</li> <li>・写したり、真似たりして書くこと</li> <li>・聞いたこと、読んだことを活用して話すこと、書くこと</li> </ul> </li> <li>○考えを形成、整理する力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、外国語の情報を選択したり、抽出したりすること</li> <li>・外国語の情報を活用して自分の意見や考えを自分なりにまとめること</li> <li>・まとめた自分の意見や考えを外国語で表現すること</li> </ul> </li> </ul>
③ 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語や文化を尊重しようとする態度</li> <li>○主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度</li> <li>○相手を尊重しコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語や文化を尊重しようとする態度</li> <li>○自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度</li> <li>○他者を理解し、尊重してコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul>